

主催:長崎大学

共催:



日本医学ジャーナリスト協会西日本支部

オンラインで結ぶ **日英** 公開シンポジウム

新型コロナウイルスとグローバルヘルス

～新興感染症のパンデミックにどう立ち向かったか。課題と教訓～

日時 2021年 **3月7日(日)** 17:00~20:00
(開場:16:30)

会場 **アクロス福岡・国際会議場** 福岡市中央区天神1-1-1
(会場定員100名、オンライン300名) =先着順

長崎大学卓越大学院プログラム **COVID-19 and Global Health**



座長

ロンドン大学衛生・
熱帯医学大学院学長
ピーター・ピオット



オンライン配信
英語使用(同時通訳付き)



座長

元日本感染症学会理事長・会長
東大名誉教授
岩本 愛吉

世界を覆う未曾有のパンデミックとなった新型コロナは、今なお我々の社会、生活に大きな影響を及ぼし、ワクチンや変異種の登場とともに新たなステージへ向かおうとしています。日英の感染症疫学の専門家が、それぞれの視点からこれまでの課題と教訓、そしてメディアを含めた公衆衛生の役割について基調講演。

パネルディスカッションでは、東京や九州、東南アジアなどの事例を報告し、それぞれの地域が抱える課題と展望を論じます。

基調講演

講演



京都大学
教授

西浦 博



ロンドン大学衛生・
熱帯医学大学院教授

ジョン・エドモンズ



国立国際医療研究センター
国際感染症センター長

大曲 貴夫



長崎大学
教授

クリス・スミス



長崎大学
教授

有吉 紅也



【主催者挨拶】
長崎大学学長
河野 茂



【閉会挨拶】
長崎大学大学院
熱帯医学・
グローバルヘルス
研究科長
北 潔

分科会

日時 **3月8日(月)・9日(火)** 17:00~20:00 オンライン(ウェビナー)開催

分科会では、日英の臨床現場におけるCOVID-19対応と流行株ゲノム解析等についても議論します。また、日英が協働した**グローバルヘルス人材育成プログラム(Joint PhD)**に興味があるひと向けにグローバルヘルスをテーマにした多彩なプログラムも準備しています。

お申込み ▶ <https://iscgh.jp/>
お問合せ ▶ 長崎大学卓越大学院プログラム運営事務局
contact@iscgh.jp



参加無料

会場参加、オンライン視聴
共に無料

新型コロナ感染拡大の際は、オンライン配信のみで開催します。